

1 調査日 平成 25 年 8 月 27 日（火）～28 日（水）

2 調査の概要

8 月 27 日（火）

（1）富山市議会（富山県富山市）

富山市では、少子高齢化に対応した交通弱者のモビリティの確保を図るとともに、都市内交通の円滑化、環境負荷の軽減、中心市街地の活性化の観点から公共交通機関への利用転換を促進するために、全車両に低床車両を導入した次世代型路面電車、いわゆる L R T（Light Rail Transit）を 2006 年 4 月に開業した。

また、公共交通の活性化として、ライトレールのほかに、バスや既存の鉄道、自転車にも力を入れている。

本県では、滋賀交通ビジョンを策定中であり、公共交通を軸とした地域の活性化の取り組みについて調査を行った。



8月28日（水）

（2）金沢 21 世紀美術館（石川県金沢市）

金沢 21 世紀美術館は 2004 年 10 月に開館した美術館で、「まちに開かれた公園のような美術館」をコンセプトとし、誰もがいつでも立ち寄ることができ、様々な出会いの「場」となるような美術館を目指している。地域の工芸・デザインとアーティストを結びつけ、地域活性化につなげる取り組みを行っている。

本県において現在検討中の新生美術館における、地域活性化と結びつく美術館活動の参考とするため調査を行った。



（3）金沢市民芸術村（石川県金沢市）

金沢市民芸術村は、金沢市が設置した市民の芸術活動を支援する目的の総合文化施設で、紡績工場の敷地と建物を市が購入してレンガ造工場建築群を再生した。7つの屋内施設と大広場、伝統文化を維持するために必要な建築系技能の保存・継承技能者養成を目的とした金沢職人大学校を併設したアートスペースとなっている。

県民の文化活動拠点検討の参考とするため調査を行った。



（4）石川県議会（石川県金沢市）

石川県では、平成 26 年度末の北陸新幹線金沢開業に向けて、その効果を最大限に引き出すため官民を挙げてアクションプラン（STEP 21）の推進を図っている。また、新幹線開業PR推進ファンドを創設し積極的な開業PRを計画している。

北陸新幹線を活用したまちづくりや観光誘客の展開、並行在来線の経営分離の取り組みについて調査を行った。

